

平成二年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1) 第二十三回中央教化研究会議

(イ) 期日 九月上旬 一泊二日

(ロ) 会場 池上本門寺・朗峰会館

(ハ) 管区教研運営委員参加

(ニ) 各教化分野別部会制で運営。教務部・現宗研スタッフにて内容を協議し、現宗研顧問・囑託・研究員を含む運営会議を開き、企画・運営などの要綱を決定する。

(2) 教区教化研究会議の開催運営

(イ) 十教区にて開催運営

(ロ) 中央教研のテーマを踏まえ、各教区・管区で推し得るテーマを企画し、総弘通運動の推進と施策を図る。

(ハ) 管区運営委員と協議し、企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(イ) 日蓮教学の現代化に取り組む。中央教研の部会制を中心に、継続して討議研究を進めるとともに、教研会議にて提示される教学の問題についても、研究していく。

(ロ) 教化学研究。教化学研究会を年二回開催し、教化の在り方、問題点を発表してもらい、現代教化の方策をまとめる。

(ハ) 日蓮主義研究。法華経・日蓮聖人研究セミナーを開催し、現代の諸問題と教学・教化の研究を継続して進めていく。

(ニ) 教団論研究。教団研究懇談会を開催し、信行論・寺院論・僧侶論・教化論・教育論等の多面的問題に対する現状分析・点検・問題提示等を行うことよって、日蓮宗の組織機構・教師の資質・布教教化など、教団のあるべき方向を研究模索し

ていく。

(ホ) 研究例会。現代教化に関する諸問題について継続的研究を行なう。

(ヘ) 新宗教研究。現代宗教研究セミナーを開催する。プロジェクトチームでは、一昨年度よりの新宗教についてのハンドブック No.2 作成のための調査研究をつづける。

(ト) お題目総弘通運動研究。プロジェクトチームでは、昨年度よりの他宗における宗門運動の調査研究を進め、今後のお題目総弘通運動の取り組みに対して検討を加える。

(チ) 仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会への参加。

3、調査部門

(イ) 寺院実態調査。プロジェクトでは、昨年度より検討してきた都市部・人口過密地域における未開教地区・無寺院地区の宗教事情と宗教活動・都市部寺院の抱えている諸問題等について、調査研究をしていく。

4、資料部門

(イ) 中央教研の決議に沿って、日蓮宗教化センター設置を推進し、各地域教化センターとの連絡を密にし、教化研究・布教資料などの交換を図り、収集につとめる。

(ロ) 必要な図書を購入し、昨年度よりの継続で、蔵書のコンピュータ管理を旨指して整理を行なう。

(ハ) 各種教化資料を収集し、保管する。

(ニ) 「現代宗教研究」第二十三号の発行。

(ホ) 平成元年 日蓮宗年表の作成。

(ヘ) 教化資料シリーズの発行。

(ト) 総合企画部の委嘱により、「人権シリーズ」を編集し作成する。

5、会議

顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。